



活動 FILE

凧づくり教室



▲「高齢社会をよくする北九州女性の会」香月夫妻が講師。丁寧に教えてもらいました



▲学生のおにいちやんとつくりました～



▲いい感じにできました！

●さっそく凧あげに挑戦！
幼い子どもでも「必ず凧が上がる～」と大好評！



凧



凧

▲自作の凧で楽しむ学生😊

新年の集い

ミニプレーパークとコラボ

◇1月21日(水)日本の伝統的なお正月の雰囲気伝えたいと、ミニプレーパークの日に『新年の集い』を開催しました。最高気温7度と寒い日でしたが、凧づくり、凧あげ…お正月らしい遊びを通して、子ども達、学生、大人と一緒に2026年のはじまりをたっぷり楽しみました～。

◆主催：高齢社会をよくする北九州女性の会



▲藁で作った「とへ馬」縁起物！

▲「子どもの健やかな成長を願う」といわれる羽子板。色鮮やか！



空高くまで凧が舞う～



▲ミニプレーパーク

炭火で焼き物を楽しんだり…。とても寒い日でしたが、お昼頃から青空も広がり、冬の外遊びを満喫！寒さも吹っ飛ばす～！



▲学生たちが、芋の子汁を味わいながら交流を楽しんでいました！



芋の子汁鍋

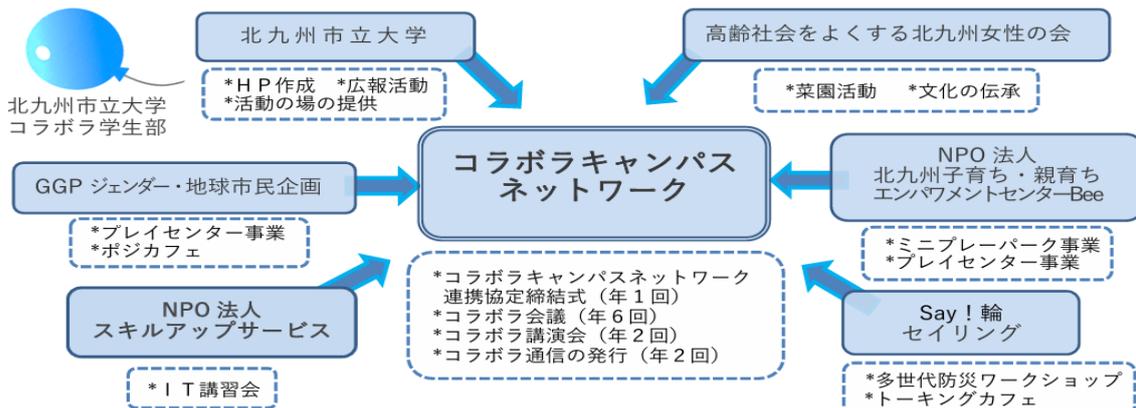
●里芋、せり…野菜たっぷり！味噌味、しょうゆ味のふたつの鍋、おいしかったです！温まりました～！



コラボラキャンパスネットワークとは？



「北九州市立大学」/「NPO法人北九州子育て・親育ちエンバフメントセンターBee」/「高齢社会をよくする北九州女性の会」/「GGPジェンダー・地球市民企画」/「NPO法人スキルアップサービス」/「Say!輪」(セイリング)の計6団体が取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。普段なかなか接することの少ない学生と地域の方々が、北九州市立大学北方キャンパスを拠点に交流できる活動やイベントを展開中です。



小倉南区親子ふれあいルーム「さざん」
コラボラキャンパスネットワークの中から立ち上げた実行委員会が、北九州市の委託を受けて運営しています。

コラボラな人 Part3

北九州市立大学

地域共生教育センター



特任教員 森 京花 先生



1. コラボラキャンパスネットワークの印象は？

実は在学中にもコラボラキャンパスネットワークのことは知っていました。その頃から、子どもたちの居場所を作ってるんだなあとか、菜園があるんだ！と思っていました。ただ、強い印象を持つようになったのは特任教員になってからです。

コラボラキャンパスネットワークの皆さんは、「〇〇をしましょう！」とコラボラ会議で発信してくださる中で、このような企画をするのはなぜか、そしてこの企画を実施するためにどんなことを準備するのかを、思い思いに言葉を交わされています。自分の思ったことを率直に伝えても大丈夫だ、と信頼しあっている関係性だからこそ、議論が活発なんだなと感じています。なので、「安心できるみんなの居場所」という印象が強いです。



2. サークル活動や地域活動など、森先生の学生時代に、印象的だったことは？

私は2019年に北九州市立大学へ入学しました。地域創生学群で社会福祉を専攻する福祉コースに入り、実習活動、資格取得のための授業に追われながら、毎日楽しく過ごしていました。ただ、2020年になり、次は2年生だという段階でコロナ禍に突入しました。当時サークルで軽音楽部にも所属していましたが、新入生を入れることが出来ず、廃部になりました。授業は全てオンラインで、思い描いていた大学生活とはかけ離れたものとなりました。

大学3年生に進級した2021年からは徐々に通学することが出来るようになっていきました。一週間に1回程度でしたが、友人と会えることが何よりも嬉しかったです。次第に地域で活動することが出来るようになり、子どもたちの居場所づくり支援を始めることが出来ました。

私の大学生活は半分以上大学で過ごすことなく終わりましたが、そんな毎日があったからこそ、特任教員として学生の地域活動を伴走支援できることがありがたいなと痛感しています。



北九州市立大学のOBでもある
森先生にインタビュー！



3. 現在の学生と、自分の学生時代との違いはどんなところ？

「好きな活動・したい活動を選べること」が大きな違いかなと思います。先述していますが、私の大学生活は半分以上がオンラインでした。421Lab.に入って、挑戦してみたかった活動もありました。だからこそ、今の学生たちには「やりたいことがあるなら、考えるより前に挑戦してみて」と声をかけています。

後悔してほしくない、今の学生時代の経験を次に活かしてほしいと考えているからです。



4. 地域に根ざし、地域貢献を校是とする北九州市立大学。学生とコラボラ団体の交流に期待することは？

学生だから気づくこと、大人だから気づくことはいっぱいあると思います。お互いの知っていることを伝えあいながら、関係性を強固なものにしてほしいと考えています。

また、特に学生には、大学時代に様々な経験をしてほしいと考えています。大学の中の活動だけでなく、たくさんの大人と関わりながら、自分の興味のある活動をつかみ取って、大人に成長できる機会がより活性化していくと嬉しく思います。



森先生、ココロに響くメッセージありがとうございました！

